と怪んで萩野が家のうきそめの母御前
より男を討れて見せもせんと毛付して赤心
きこゆし迫せと追ふるけ名詞とつけら迫
一人を迫て赤い二十数かとなりねる第四の
うちかて一騎者千と頼きより濱野手第
以者ぶりいざ一番負とそ命軍八ふた
ひ名今けるのとそし金ば敵兵助来
くうくう言と招くしそて六七間拒を迫
ると濱野氣を奇り先刻の詞もかば敵ようし
ろとそのうさしと迫らく敵軍八敵を

たもふ弟と伯門まも濱野うしろへ走
し相俗と濱野ら見へ地入迫ハ相俗い迫近て
一所金りしを角ら手付馬上を落を
近てうち三の濱野としもしら拒蕃ひ
しら逃ら人石赤迫て濱野らうさきより
たのきのしへ矢迫しられいもの
こうして倒迫られい軍八馬より五て下り
帝をそんと立より而ふ活馬ハ大剣の
去行迫ハうをを帝をもせた起上て軍八
と押なひ矢をと組て力倒を害用組